

コンプライアンス委員会の活動報告

コンプライアンス委員会が開催され、コンプライアンス活動の実施状況が報告されました。

記

1. 開催日と場所

平成24年7月30日(月) 川西倉庫本社 役員会議室

2. 出席者

コンプライアンス委員会委員長  
取締役、コンプライアンス・オフィサー 11名  
監査役 4名  
コンプライアンス委員会事務局長 計 17名

3. 議事内容

- 1) 関税法等のうち、一層の貿易円滑化を図れるよう、通関関係書類の電子化・ペーパーレス化への取組みに係る説明会に各所より参加し、NACCSを利用して行う輸出入申告のうち審査・検査が不要とされるもの(区分1)に係る通関関係書類の取扱いについて確認した。

(6月 阪神、名古屋)

また、平成24年度関税関係法律等改正について資料をもとに説明を行った。

許可保税蔵置場業務手順書より、保税地域への入出構における受付台帳の管理や立入許可証を携行していない部外者への声かけ運動の励行等セキュリティ対策について各所にて再確認を行った。

(4月~6月 阪神、名古屋、京浜)

- 2) 倉庫業法のうち、倉庫業務基礎研修会に各所より参加するなどし、倉庫業務、保管・荷役料の計算方法、倉庫寄託約款について確認を行った。

(5月~6月 阪神、名古屋、京浜)

営業倉庫における火災保険、賠償責任保険の付保等についてや法律に基づく営業倉庫の開設、閉鎖の手続き等について勉強会を開催した。

(4月17日、5月24日 総務部)

- 3) 食品衛生法のうち、輸入食品監視指導計画等説明会に参加し、平成23年度の監視指導計画に基づく検査結果や平成24年度輸入食品監視指導計画、モニタリング計画や命令検査計画等について確認を行った。

(4月 阪神、名古屋)

また、輸入食品等における検査の概要や意義について再確認を行った。

(6月11日 阪神)

- 4) 下請代金支払遅延等防止法のうち、下請代金法に関する参考資料をもとに、親事業者の禁止事項や下請事業者への対応等について各所にて確認を行った。

(6月 阪神、名古屋、京浜)

- 5) 監査室は、継続して業務の適法性などについて各課所の監査を実施している。リスク管理面からみて不適切な事案については、改善指導を行い、フォローアップも実施している。

- 6) 社内のコンプライアンス通報/相談窓口および弁護士事務所窓口(川西 CP ホットライン)への期間中の利用および通報はありません。

以上